

平成19年度 事務事業評価表		担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3002
事務事業名	消防本部代表電話交換業務事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等				Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	代表電話に加電された緊急通報を
手 段	交換担当者が災害情報を的確に把握し、
想定する成果	迅速な消防力の運用を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
代表電話 受付回数	4,442回	4,439回	
緊急通報回数	130回	92回	

成果指標

成果指標名	代表電話による緊急通報割合
成果指標の説明	緊急通報回数 / 代表電話受付回数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		2.93%				2.07%							
成果指標													
事業費	事業費	585				585				585			
	人件費	24,130				25,773				27,458			
	(人数)	正規	3.1	非常勤	0.0	正規	3.3	非常勤	0.0	正規	3.5	非常勤	0.0
	合計	24,715				26,358				28,043			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	24,715				26,358				28,043			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	概ね用件に見合った部署に接続されている。
経済効率性	3	3	2	3	
事務効率性	2	1	2	2	現在の人員では夜間の交換業務に問題が生ずる。
必要性	3	3	3	3	代表電話にも災害通報が行われる場合があるために、今後も実施すべきである。
小計	10	9	9	10	
施策への貢献度	3	-	2	-	電話交換は市民サービスとして必要な事業である。
合計	13	9	11	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	災害時に指令業務と兼務のために、交換業務に支障が出る事がある。
------	---	---	---	---	---------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
新庁舎建設後、消防署員との業務により事務効率を上げられるように、人員配備、業務内容等の検討を行っていく。
上記改善点の実施状況
新庁舎は平成22年4月運用開始予定ですので、現時点では改善していません。

今後さらに改善すべき点

24時間交換業務専属職員の配置が出来るように職員の増員が必要である。

平成21年度予算に反映する項目

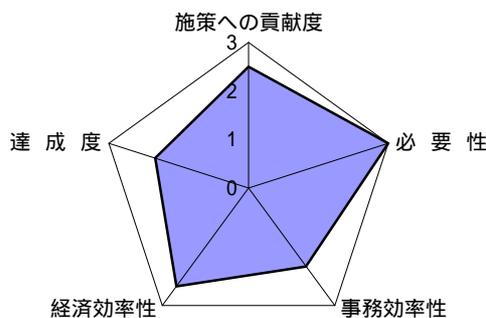
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点